

科目名	福祉社会開発政策・実践論特講	2 単位
担当者	申請に基づく単位認定科目（各専攻において単位認定判定を行う）	
テーマ	福祉・医療・介護・開発の政策・実践に応える研究アプローチを学ぶ	
科目のねらい	<p><キーワード> ソーシャルワーク、スーパービジョン、地域包括、ICF、社会開発、社会保障</p> <p><内容の要約> 福祉・医療・介護・開発をはじめ幅広い分野を対象に、政策・実践の両面からアプローチし、問題を解決する上での政策枠組み・地域志向の視点・社会開発の方法など幅広い観点から、高度で専門性の高い内容について展開する。</p> <p><学習目標> 政策・実践の両面からのアプローチ手法を理解する。 問題解決志向の研究視点を身に付ける。 実践現場の課題解決に応用する視点を身に付ける。</p>	
授業の進め方	<p>本科目は単位認定申請科目です。 大学院特別公開セミナーを受講することにより、単位認定申請が可能となります。</p> <p>■第1回 6月25日(日) 13:15~16:30 <大橋 謙策先生> 【講義・演習】重層的支援体制整備とコミュニティソーシャルワーク</p> <p>■第2回 7月9日(日) 13:15~16:30 <二木 立先生> 【講義】複眼で読む医療・社会保障の未来と病院の役割ー悲観論を超えて 【演習】今後の医療提供体制改革ー「かかりつけ医の機能強化」を中心に</p> <p>■第3回 9月10日(日) 13:15~16:30 <宮本 太郎先生> 【講義・演習】社会保障改革とまちづくり マクロとミクロの視点をつなぐ</p> <p>■第4回 10月1日(日) 13:15~16:30 <白澤 政和先生> 【講義】地域共生社会確立に向けたソーシャルワークの課題 ～市町村は包括支援体制をいかにつくるのか～ 【演習】地域共生社会づくりでの8050世帯へのケアマネジメント ～ストレングスを活用したケアプラン作成～</p> <p>■第5回 10月29日(日) 13:15~16:30 <上田 敏先生> 【講義・演習】全人間的理解のツールとしてのICF(国際生活機能分類)</p> <p>■第6回 12月10日(日) 13:15~16:30 <中村 秀一先生> 【講義】人口減少社会と社会保障 【演習】安倍長期政権の社会保障</p>	
単位認定申請手順	<p>【1. 単位認定申請の手順】</p> <p>1) 大学院特別公開セミナーの、参加申込の手続きをおこなう。 申込先…https://www.n-fukushi.ac.jp/gs/2023/kenkyu/ ※本科目は、大学院特別公開セミナーへの参加申込をもって履修登録とします。 nfu.jp上で履修登録をおこなう必要はありません。</p> <p>2) 全6講中5講義以上を受講し、受講後「受講証」を受け取る。</p> <p>3) レポート課題の作成。 ※下記「成績評価方法と基準」欄に示すテーマについてレポートを作成してください。</p> <p>4) 必要書類(受講証・レポート課題)を提出し、単位認定申請をおこなう。 ※単位認定申請の結果は後期成績発表時に通知します。</p> <p>【2. 単位認定の申請期限および申請方法】</p> <p>1) 提出書類: 受講証 + レポート課題</p> <p>2) 提出期限: 2023年12月18日(月)～2024年1月12日(金)</p> <p>3) 提出方法: 窓口提出または郵送 ※郵送の場合は期日必着 [宛 先] 〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35 日本福祉大学名古屋事務室</p>	
成績評価方法と基準	<p>大学院特別公開セミナーの受講証を提出し、提出されたレポートの「合格」判定により単位認定されます。</p> <p>レポートのテーマは、「セミナーを受講し、新たに学んだ点、自身の研究・実践に活かせると考えた点」などについて、A4版(40字×40行程度)3頁以内で作成してください。</p>	